

社会福祉法人 いぶきサポート協会

2019年度

児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業

事業所職員アンケート結果

ばんびくらぶ(放課後等デイサービス)

かなで(放課後等デイサービス)

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名
ばんびくらぶ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・整備体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	・広さは十分あるが、刺激となるような場合には、パーティションで区切ることによってストレス等の原因とならないように配慮している。 ・晴れの日はずぐに出られる庭ができたことでメリハリをもって過ごせていると思う。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	2	0	・制度上の配置はされており、支援中の人手はあるものの個別対応が必要な利用者が増えているため安全配慮が必要である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	0	0	・段差はないが間口が狭いため、車いすを移動させるのに余裕がない。つくりを変えることはできないので人でカバーを行う必要がある。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1	0	・送迎や勤務時間等の理由で全員揃う時間を確保することが難しいこともあるため、業務日誌等で情報共有に努めている。どこを確認するか場所も共有することが必要である。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	・次年度の事業計画の参考にしている。また、支援中の鍵かけ等の玄関の防犯対策等、すぐ実践できることは改善につなげている。また、何のために行った活動や対応なのか保護者に対して説明できるように心がけている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	事業所の集計結果を3月上旬に保護者へお渡ししている。ホームページには、法人の各事業所でまとめたものを公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	1	今後行うことが必要と考えている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	・職場内外での研修を通じて、支援の質を高めているところである。受講後事業所内で共有し、支援の改善につなげている。 ・年数で受けてほしい研修と職員が希望する研修を組み合わせ受講できるように調整を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	4	0	0	・定期的に保護者と面談を行ったり、職員会議でモニタリングを行う中で課題を整理し、個別支援計画に活かしている。子どものニーズにも目を向けているようにしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	2	1	・太田ステージやMEPA-R等を参考にしたい。 ・参考にするツールはあっても統一されていない。統一されたものを継続的に使用していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1	0	・日々の支援は、週のリporterを中心に考えながら、息元を出し合っている。 ・季節ごとの行事は、担当制にしており毎年工夫がなされている。行事のねらいやプログラム等の計画を行い、担当を中心に会議で意見を出し合い楽しいものを心がけている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	・行事等を力担することで職員のアイデアで毎日の活動楽しめるよう工夫されている。 ・季節のイベントとそれに関する活動、また、ひと月の中で活動内容が重複しないよう配慮している。年間行事予定に加えて毎月おたよりなどでその月の活動をあらかじめお知らせし、子どもが目通しを持ってほしい。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	0	・その時々の子どもの様子を見ながら、支援を行っている。 ・ひとつの活動の中でも子どもごとに参加方法やねらいをそれぞれに設定するようにしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	3	1	0	・集団活動の場面においての計画が多いように感じている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	・毎日利用者が変わる中で、安全を保つため毎日の配慮や留意事項が変わってくる。一人ひとりに目を向けていきたい。 ・始業時と支援前に打ち合わせをし、支援前にはその日の活動内容をお話し、意見をいただくようにしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	3	0	・支援での山本争を打ち合わせてという場を設けてはいないが、情報共有として話したり、日誌に記入したりしている。後日利用の前にも確認するようにしている。 ・気が付いたことは当日中に話すようにしているが、終業時に日録が終了していないこともあり、習慣にできていない。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1	0	・正しく記載するように心がけているが、時間をかけすぎてしまうことがある。記録の取り方の研修に参加した職員にもうかがい、効率よく書けるよう努めたい。 ・どのように支援したら、うまくいったかやうまくいかなかったかの記述が少ないため記録に関して課題が残る。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	・6ヶ月に1回、もしくは状態を見て保護者や職員との面談で見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4	0	0	・子どもたちの年齢や、利用回数、特性を考慮しながらできる限りガイドラインに沿うように支援を組み立てているところである。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	・会議にはできる限り日程調整を行い、会議の内容により参加者を決定している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	0	0	・学校だけでなく、他事業所との情報共有が必要だと感じている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	0	0	・今のところ医療的ケア児は利用されていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	0	0	・利用前に集団での様子や留意することなど引継ぎをさせてもらっている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1	0	・次の事業所へ口頭や文書で引継ぎや提供を行うようにし、利用児童に負担がかからないようにしている。

	⑳	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	0	・会議や研修会に参加し、情報交換の機会を得ている。
	㉑	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	1	・どのように交流するか今後の課題である。 ・新潟市放デイネットにて取り組みを始めているところである。
	㉒	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4	0	0	・施設長が参画しており、地域の情報を得ている。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	・送迎時にお会いできる方には、その都度口頭でお伝えし、自宅送迎などでなかなかお会いできない方には、連絡帳にひと言でも記載するよう努めているところである。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	1	・相談に応じ、助言をすることはあるが、それがペアレントトレーニングかといえは疑問に残る。
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	・契約時に一度にたくさん説明することがあるため、その後も質問されたことに対して理解してもらえるように努めている。
	㉖	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	・視覚支援グッズや適切な行動がとれるような情報等を提供できるように努めている。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1	0	・年に3回茶話会や学校見学等の催しを開き、保護者同士の連携や情報交換の場を設けたりしている。
	㉘	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	・できるだけ迅速に対応するよう努めており、文書にて職員間で情報共有を行い、改善に努めている。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	・月一回のおたよりの発行を行い、事業所での様子や予定をお伝えしている。役立つ情報を掲載していきたい。 ・月に一度のおたよりの内容を情報発信してより充実したものにしていきたい。
	㉚	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	・部外者や他者に見られては困るものは、鍵付きの棚に管理している。
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	・わかりやすさを心がけており、視覚的な支援やことばを選んで伝えるようにしている。

	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	0	・地域に住民がないため、こども園等をあきらちゃんコンサートに招待し好評を得た。民生委員の方とも連絡を取り合いたいと考えている。
非常時等の対応	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2	0	・各マニュアルを折に触れて職員と共に確認や見直しを行っている。
	㉒	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	・地震、火災、津波、不審者からの避難訓練を行い、職員や利用者の取るべき行動をその都度確認している。避難リュックの中身の確認も行っている。
	㉓	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	・児童部の人権擁護係が中心となり、研修やセルフチェック等を行っている。
	㉔	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	4	0	0	・身体拘束はしていないが、どこまでがそれにあたるのかを学習していきたい。
	㉕	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	0	・アレルギーのある子どものチェックを行い情報共有している。
	㉖	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	・ヒヤリハットがあったときには、適宜記録し回覧している。同じ失敗やヒヤリハットを起こさないよう具体的な対策を立て実行している。

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名
かなで

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・整備体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	集団が若干苦手な方や個別課題に落ち着いて取り組めるよう空間に配慮しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	0	0	現在は適切だが今後については考慮が必要です。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	0	目標に向けての支援について、職員間で話し合っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	0	保護者の意向を職員間で共通認識し、改善につなげるようにしています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2	0	ホームページで公開しています。 事業所のおたよりを定期的に発行しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	2	4	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	0	法人内外の研修に参加し資質向上を目指しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	4	2	0	きちんと話し合いの場を設けられないケースもあるため改善していきたいです。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	0	絵カード等用いています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2	0	職員でアイデアを出し合い立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	5	0	様々な状況により固定してしまうこともあるが、固定しないよう努めたいです。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	0	学校と連携し、課題を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	5	1	0	その時の様子により、無理のないよう組み合わせています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	0	ミーティングを行い利用者の状況を確認し、話し合いの中で支援の統一を目指しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	0	6	0	送迎等で打ち合わせ時間がなかなか設けられないため、翌日行うことが多いです。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	0	日々の記録に関しては職員間で確認し共通認識に努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1	0	定期的に見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	1	5	0	定期的にガイドラインを見直し支援について考えます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2	0	必要に応じて参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	0	送迎時などで情報共有を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	2	4	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	0	事前に情報共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5	0	必要に応じて対応していますが、全員に対しては行えていません。

	⑳	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	6	0	研修に参加することはありますが、連携はあまり取れていません。
	㉑	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	5	近隣の児童と交流できる場を作るよう、事業所のイベント等は回覧板で周知しています。
	㉒	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	0	6	0	法人内の参加者から話を聞く機会を設けています。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1	5	0	保護者をはじめとする各関係機関との連携強化に努め、共通理解を深めたい。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	5	1	研修への参加等で支援の向上を目指したい。
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	0	契約時に行っています。
	㉖	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	0	必要に応じて行っています。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	4	今後、保護者も一緒に参加できるイベント等、立案していきたいです。
	㉘	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	0	
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	0	定期的におたよりを発行しています。
	㉚	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	個人情報の取扱いに十分注意しています。
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1	0	意思の疎通や情報伝達に配慮し、共通認識の元、安心して過ごしていただけるよう努めて参ります。

	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	1	地域の行事に参加した。回覧板を通してイベント参加を呼び掛けています。
非常時等の対応	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	5	0	作成したがまだ周知していません。早急に周知します。
	㉒	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	0	非常災害時に迅速に対応できるよう、定期的に訓練を行っています。
	㉓	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	0	定期的に社内外の研修に参加し、虐待防止に努めています。
	㉔	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	5	1	0	
	㉕	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	0	必要に応じて指示書の提出をお願いしています。
	㉖	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	0	共有しています。